

## 《「基礎的な学習の時間」の取組》



**学年**：高等部くらし地域コース3年

### 児童生徒につけたい力

- ・所持金から買うことができるものを考えて買い物をする  
ことができる。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・お金の数え方と書き方を知る。
- ・値段を見てお金を払うことができる。
- ・硬貨と紙幣の両替をすることができる。

### 具体的な内容

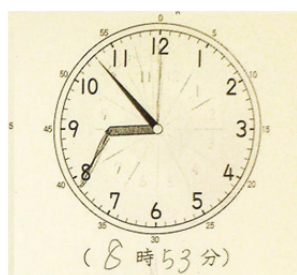
- ・硬貨を見て金額が分かる、金額を見て硬貨を選ぶ、数を量や長さで表し大小関係や等価価値について知る、具体的な条件設定の中でお金を払う(店)、iPadの支払いアプリでの練習

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・プリント学習で基礎的なことを学び、その後は実際のお金を操作する中で理解が深まった。
- ・具体的な場面設定の中での支払い練習や、買い物学習での支払いをとおして、実際の生活に生きる力を付けることができた。

### 今後に向けて

- ・卒業後に“自分で稼いだお金で好きなものを買うことができる”ということを励みに、仕事に意欲的に向かえるようになってほしい。



**学年**：高等部くらし職業コース1年

### 児童生徒につけたい力

- ・自己肯定感をはぐくむ。
- ・学習に対する意欲(「頑張れば解決策があるはず」とチャレンジする力を高める。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・生活に関わりのある素材を取り上げ、生活経験の中から解決できる考えを引き出す。

### 具体的な内容

- ・アナログ時計の読み方
- ・漢字(地域の地名、使用説明書、調理手順など)
- ・コミュニケーション的なゲーム、など

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・時計は、自分なりの工夫(針から補助線を引いて数字を導き出す)で読めるようになってきたり、作業日誌に書ける漢字が増えたり、自分から計算をしたり、机に自分でメモを貼り付けたりするようになった。
- ・「分かれると楽しいな」と達成感を感じたり、チャレンジすることへの意欲が高まってきている。

### 今後に向けて

- ・自己肯定感を高める経験を積むことで、チャレンジしようとする力をはぐくみ、その力を働く力につなげたい。

## 《「基礎的な学習の時間」の取組》



**学年**：高等部くらし職業コース2年

### 児童生徒につけたい力

- ・自分自身で問題を解決する。
- ・余暇や休憩時間を有意義に過ごす。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・国語辞典、漢和辞典の辞書の引き方が分かる。
- ・生活で使える語彙を増やす。

### 具体的な内容

- ・自分の興味関心のある本を、始業前や休憩時間に読み、読み方が分からない漢字や意味が分からない慣用句等をメモに残しておき、「基礎的な学習の時間」で調べる。

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・生活全体の場面で指導者に聞くだけでなく、まずは自分で考えて行動する場面が増えてきた。

### 今後に向けて

- ・自分で調べて自分で分かる経験を重ね、自己解決力や探求心をさらに伸ばして、何事にも主体的に取り組む生活につなげていきたい。



**学年**：高等部くらし職業コース3年

### 児童生徒につけたい力

- ・相手の話を正しく聞き取る。
- ・相手にわかりやすく説明する。
- ・自分のための医療や理容の電話予約ができる。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・電話を使って用件を伝える。
- ・誰にでも伝わる言葉で話す。

### 具体的な内容

- ・自分のスケジュール表と照らし合わせて電話予約を入れる。

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・表情や仕草、擬音に頼らず、買い物に来られた地域の方ともうまく話を進めて情報交流できるようになった。

### 今後に向けて

- ・予定が重なった時の上手な断り方や、時間調整により両方が成立する予定の組み方等、より有意義に自分の時間が使える生活につなげていきたい。

## 《「基礎的な学習の時間」の取組》



**学年**： 中学部 2 年

### 児童生徒につけたい力

- ・人とかがわりながら、「分かった、できた」「好き」という気持ちを広げ、豊かに生活を送る。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・言葉掛けに期待したり、見たいものに注目して追視したりすることで、気持ちを表現できる。

### 具体的な内容

- ・関心のある具体物とのやりとり、絵本の読み聞かせ

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・体調が良く、刺激に配慮した環境や安心できる指導者との関係では、繰り返しの活動の中で期待感(追視や注視)や笑顔を見せていた。
- ・個別的な環境調整が難しい場面であったり、体調が整わないと、この学習で見せた力を他の学習場面でも十分に発揮することは難しい。

### 今後に向けて

- ・集団活動でも力を十分に発揮できる環境や教材設定を「基礎的な学習の時間」の取組と連動しながら考える



**学年**： 高等部くらし健康コース 2 年

### 児童生徒につけたい力

- ・「分かる感覚」をとおして、気持ちを安定させ、自信をもって活動する。

### 「基礎的な学習の時間」でつけたい力

- ・分かることを増やし、自分でやりきった達成感を得ることで、次への意欲につなげる。

### 具体的な内容

- ・おしりトン(大きな動き)・・・人との安心できるかかわりの中で受け止めやすい感覚を楽しみ、「もう 1 回」を表現する。
- ・缶倒し(小さな動き)・・・教えられた手の動きを再現することで、物が変化するという結果が分かり、達成感を感じる。
- ・スイッチ・・・操作することで TV のチャンネルが変わることの理解。どんなスイッチが本人の動きにぴったり合うか、試行錯誤中

### 「基礎的な学習の時間」に取り組んだことにより

- ・「やってみたら、できる(変化する)」が分かってきた。

### 今後に向けて

- ・自信をもって取り組めることを増やすことで、苦手な集団の場でも活動に向かいやすくなって欲しい。
- ・家庭でもスイッチが使えるよう、つなげていきたい。